

令和3年度決算の常任委員会における審査の主な内容

概要

議会では毎年度、一般会計・特別会計などの各会計決算について、予算の目的に沿って適切に執行されたかどうかを審査します。本年度は、教育厚生、環境経済、建設水道委員会が10月24日から26日（26日は教育厚生委員会のみ）、総務委員会が11月2日、4日に決算審査を行いました。

一般質問

総務委員会

総務費において、自治会加入率の増加に向けて、これまでの取組を検証し地域の実態を把握した抜本的な対策を行う考え、交通指導員が未配置の学校における対応策、新市庁舎建設整備基金の残高の今後の見通しなどについて慎重に審査しました。

次に、消防費において、婦人防火クラブや少年消防クラブにおいて補助金の執行額が減少している理由、地域住民と市民防災リーダー間の情報共有の在り方などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、新市庁舎建設事業については低層でコンパクトな庁舎建設を求める立場から認められないことなどの反対意見が出されました。一方、それぞれの地域が抱える問題については、これまで以上に地域と行政が連携を取りながら対処してほしい、社会経済活動が回復しつつあるため、引き続き交付金や補助金の弾力的な運用に努めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

令和3年度決算
議決結果

令和3年度決算
審査の主な内容

11月定例会
議決結果

環境経済委員会

農林水産業費において、農業の後継者不足を解消するため10年先を見据えた取組と市が単独で基盤整備を行う考えなどについて慎重に審査しました。

次に、商工費において、観光資源の魅力を磨き今後さらに交流人口を増やしていくための方策などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員からMICE施設については、人口減少の克服につなげるという当初の目的の達成に至っていないため認められないなどの反対意見が出されました。一方、新型コロナウイルス感染症により各種イベントの開催ができなかった経験の検証を行い、今後の長崎市の経済の活性化や行政運営に生かしてほしい、不用額を極力減らすため、事業内容を見直す際は議会に相談するなど、必ず成果に結びつけるという意識を持って迅速な遂行に努めてほしい、来訪者に選ばれる長崎となるために部局横断した体制を構築し、実効性を高めるようにしてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

11月定例会
審査の主な内容

令和4年の
長崎市議会等

新庁舎
議会フロア

教育厚生委員会

民生費において、障害福祉センター診療所小児科の新規患者の診療待機期間が解消していない理由と今後の対応などについて慎重に審査しました。

次に、教育費において、教材備品に係る予算の全体的な増額と、小規模校に配慮した予算配当の在り方などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、学校給食センターについては、自校方式や親子方式を充実させる方向にかじを切るよう求める立場から認められないなどの反対意見が出されました。一方、生活保護受給世帯等に対する学習支援事業については、貧困の連鎖を断つために、他機関と連携した仕組みを構築してほしい、高齢者交通費助成費については、全ての高齢者がサービスを受け取れるよう制度の改善を行ってほしい、中学校部活動の地域移行については、教職員や地域の声をしっかり聞いて、今後の方向性を早く示してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

建設水道委員会

総務費において、花のあるまちづくり事業における花苗の選定に対する考え方などについて慎重に審査しました。

次に、土木費において、新戸町から江川町までの工区を整備している長崎外環状線の用地交渉の進捗状況、ながさきデザイン会議費の成果指標の考え方などについて慎重に審査しました。

その結果、園芸講習会を開催するなど地域の環境整備に協力してほしい、また、地域の負担を減らすため、植栽する花を一年草から多年草へ変更することを検討してほしい、長崎南北幹線道路及び長崎外環状線の早期完成に向けて引き続き努力してほしい、道路のガードパイプの腐食状況等の安全点検パトロールの継続に努めてほしい、長崎駅周辺整備の多目的広場の全体完成に向けてより一層の努力を続けてほしい、長崎駅周辺から新市庁舎、まちなかの動線となる街路整備についてはこれまでにないような付加価値を付けて整備してほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。